

『いしぶみ』52号のコロナアンケート特集は、91名の会員がコロナパンデミック下の非日常性と向き合った「**コロナ現場体験記**」の様相を呈していました。

東京大学資料編纂所編の『日本史の森をゆく』のなかで同大の小宮教授は「**現場体験**」について次のように述べています。

＜過去の出来事の語り手として、その場に立ち会った生存者以上に重要な存在はいない。＞

## 1、会員読者から

Aさん

コロナ感染者が連日記録更新している中での、コロナ特集号の発行になり、皆さんの関心度も高く、私も皆さんの思いを一気に読ませて戴きました。89名もの多くの方の感想は、お互いの絆を確認し合う良い機会になり、貴重な記録として残すことが出来たと思います。

Bさん

特集の「新型コロナウイルス蔓延に遭遇してのアンケート」には大いに興味を覚えました。会員の皆様はどう考え、行動しているかが分かりました。

Cさん

時を得たアンケート募集でした。回収率も通常は精々30%位なのに、45%とは、関心の深さと募集したタイミングが良かったからでしょう。

Dさん

『いしぶみ』の「新型コロナウイルス蔓延～」はこういう真面目な切り口で友人と話し合うことはおそらくないから心待ちにしていました。

BSプレミアム「**英雄たちの選択**」で磯田道史さんがスペイン風邪パンデミックの記録が少ないのは、それは景色が変わらなかったからかと言っていた気がします。

100年前のスペイン風邪では自然災害同様でどうしようもなかったのか、罹患した周辺だけが悲惨で気力を失い、罹患してない側は共感できなかったのか、どうしてなのか空想しています。コロナを語らせると、その人の生き方、考え方が現れると思いました。

Eさん

アンケートは良いアイデアだったと思います。アンケート結果は往々にして分析・グラフ化され、代表的意見が紹介されますが、今回全員の生の自由記述が記載されいろいろなパターンを知ることができ良かったと思います。それぞれ顔を思い浮かべながら読まれたと想像します。

Fさん

今回の『いしぶみ』はコロナの時代を物語る記念碑的な特集となりましたね。素晴らしいことです。ふつうの人がこういう災害や疫病の時、どう思ったか、どういう行動をとったかはなかなか記述されることがないので貴重なことだと思います。日本では中世には『今昔物語』、近世では『おあん、お菊物語』(※)などびっくりするような庶民の話が残されているのですが、残してくれありがとうございますと言いたいし、世界的に見てもとても貴重なことではないでしょうか。

(※ 『おあん物語』は関ヶ原の戦いの際に西軍の大垣城に家族とともに籠城した少女が後年その体験を家族に語ったもの。記述は生々しい。城には敵方の生首が次々と運び込まれた。運んできた兵らは生首に鉄漿(おはぐ

ろ)を施すように頼んでいる。身分の高い敵将を討ち取ったように見せかけるためだ。おあん一家は落城が迫る中脱出する。

題名の「おあん」(お庵)は老尼への敬称。石田三成の家臣・山田去暦の息女とされる。

『お菊物語』は淀殿の侍女だったお菊が大坂夏の陣の落城の一日について語ったもの。敗色が濃厚となり、お菊らは城から逃げ出す。下帯を三つ着け帷子は三枚重ね着して脱出。

現場に身を置いた者のみが知る実態が詳細に語られる落城記であるが、江戸初期の成立)

Gさん

立派な特集号ができ、良かったですね。「編集後記の数字」、驚きの数字です。

Hさん

現在会員の最も関心のあるテーマの選択が良かったと思う。その結果会員の50%に迫る回答が得られたのは「史考会」の結束力の表れでもある。○×方式でなく記述式であったことも会員の考えが良く理解できた。回答者の1/3の人が国や地方自治体の対策に批判的であった。初めてのパンデミックであり(過去にスペイン風邪の流行はあったが)、当局の対応不手際は已む得ないが、迅速な修正措置が必要である。

「史考会」の活動は、会員同志の直接会話・行動が主体となっており、孤独から仲間のいる社会生活へと誘ってくれる。

一人酒は孤独であり、心の隙間風である。団欒は悦びであり、明日への活力である。

## 2、関係配布先読者から

A氏

・特集記事、広場欄の「我が学び舎」を興味深く拝読しました。我々と同世代かもっと上の方々の波乱万丈の人生記録にも共感を覚える体験談が披露されており、励まされました。

史考会に集う人達は、皆、真面目に生きてきた人達なんだなあと思います。

B氏

・終わりの見えないコロナ禍、二年に及ぶ自粛生活、史考会会員の方々の声と自分の声が重なります。

C氏

・204名の会員中91人もの会員の方が意見を寄せられ、全文掲載されていますので大変参考になります。我が国政治の無策・無責任に対する怒り、回のコロナで浮き彫りになった様々な課題の深刻さ・我が国の将来に対し期待が持てない苛立ちが随所に感じられます。

D氏

・『いしぶみ』をありがとうございます。68番の「日常生活の中で、外での仲間との楽しい会食が全くなくなって寂しい思いをしています。その分、家での晩酌用のお酒を2ランクほど上げましたが、それでも寂しさを解消できません。」私も全く同じです。

以上